



病診連携通信

第 46 号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂総合病院
令和 5年 7月 吉日

骨腫瘍について

症状：難治性の骨痛・誘因のない骨折

骨粗鬆症の場合も!!

骨腫瘍は、良性、悪性、良性悪性中間群に分類されます。良性、中間群腫瘍で問題となるのは、腫瘍増大により、骨の脆弱性を生じて骨折することや変形です。

悪性の場合
早期診断・治療が必要

骨肉腫 50～100万人に1人
膝周囲に発生が多い。
腫脹・熱感・XPで骨破壊・
骨増生・骨膜反応

若年者

転移性悪性腫瘍や血液疾患
(リンパ腫・骨髄腫)

中高年者

最初にすべき検査：全身CT

治療：化学療法・骨折や骨折予防の手術など

当院では、骨腫瘍・血液腫瘍のいずれも対応が可能です。
疑いがある時はご紹介ください。

整形外科 山田 仁 血液内科 岡本 正俊

寿泉堂総合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせ

寿泉堂総合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または
☎024-932-6363 (代表) にお問い合わせください。